

# 横浜市立上飯田中学校 令和元年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中 ②のうせい ③とめあい ④ぶんか ⑤のち ⑥くましく	言語能力 心身ともにたくましく生きる力 グローバルな中で生きる力

#### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○「チーム上中」として、全職員で安心安全な楽しい学校作りを目指します。 ・基礎・基本の定着のため、生徒が主体的になる授業実践と個に応じた指導の充実に努めます。 ・自己肯定感を育むため、多様性の尊重を柱とした人権教育と、生徒が主体の活動を推進します。 ・地域社会の一員であることを自覚し、地域活動に積極的に参加し、貢献できる心を育みます。 ・意欲や向上心の育成と、学校生活の安心安全のため、丁寧な生徒理解と生徒指導に努めます。

#### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①保健体育や部活動を通し、体力や技能向上の機会を増やすとともに、健康や安全に生活する大切さを理解させ、自らよりよい健康について考え実践する生徒を育てる。 ②保健委員会と学校保健委員会が連携して行う、生徒主体の「お弁当コンテスト」を実施（7年目）し、バランスのよい食生活への意識向上を図る。 ③8020を目指し、歯科衛生士による巡回指導を実施し「歯と口の健康」を目指し日常の歯磨きを実践し、更に健康へと意識を深める生徒を育てる。
担当	保健体育科 保健指導部

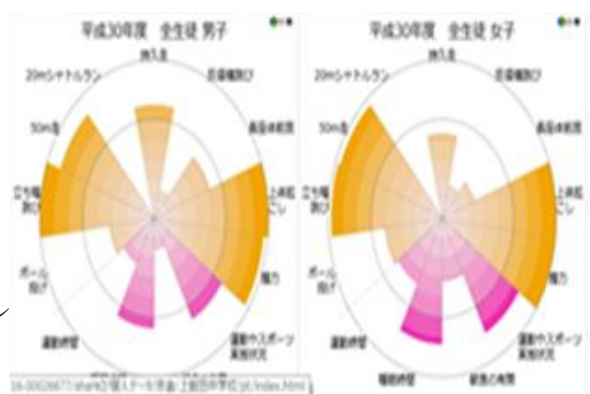
### 2 体育・健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・歯科衛生士による検診なども取り入れ「歯の健康」に着目して歯磨き運動を推進している。
- ・体を動かすことが好きな生徒が多くスポーツ関係の塾に通っている生徒はあまり多くないが、地域に外遊びができる空間は割に多くある事などから、体育の授業に意欲的に参加する生徒が多い。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）は、心の不安定さから来室する生徒が増えてきており、別室対応となる場合も出てきている。養護教諭や生徒指導専任教諭、SCと連携し、いつでも相談活動ができる対応と機関連携を適宜に取り、家庭連絡もこまめに行うようにしている。

#### (2) 体力の概要と要因の分析（昨年度新体力テスト 本校の分析チャートを活用）

・全国、市平均よりも劣っているという状況に大きな変化は見られなかった。握力は平均に近い数値が継続できている。授業で単元に応じたトレーニングを入れる工夫をしている効果が少しずつ出てきているのかと考える。持久走は男女・各学年とも平均となるには努力を要する。運動部への参加は全体の半数に近くある。練習では持久力はあるが、計測の経験が少ないため、結果に表れなかった様子もある。学期に一回計測をするなどを考えたい。・運動部以外の生徒については、昼休みのボール貸し出しでは、約半数の生徒が活動しているのはよい傾向と考える。



### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科での取組》

- ・保健体育科では、「生徒一人ひとりが自分の目標を持ち、進んで仲間と協力して目標が達成できるようにする」ことを教科目標とし、全単元を通して体力向上を図ることに重点を置き、その中で自己の課題解決力を身につけさせる。また、「自主的に活動できる場の設定の工夫」を研究主題とし指導方法の研究に努める。

##### 《他教科での取組》

- ・家庭科では、食育との関連を図り、健康的な生活を送るための基盤となる資質を高める。
- ・理科では、環境への関心を高め身近な環境問題や健康に対する知識を身につけさせる。

#### 特別活動・総合的な学習の時間

- ・体育祭では、保健体育科で培った資質能力をさらに発展させながら、集団的な体育活動への関心・意欲を高める。
- ・各学年の学級委員会で、2・3学期に球技大会を企画・計画し定期的に運動に親しむ機会を設ける。
- ・保健美化委員会では、生徒の健康面の課題改善を促す働きかけをする。
- ・安全指導では、自ら危険を回避し、安全を確保することができるよう、さまざまな訓練等の機会を設ける。

#### 課外活動

- ・運動部活動の推進
- ・「保健だより」を活用して体育・健康に関する情報を家庭と共有
- ・体育・健康に関する職員研修の充実
- ・学校保健委員会において、健康の保持増進に関する取り組みの推進

#### 平成 31年度 上飯田中学校 体力向上1校1実践運動

《名 称》 昼休みを活用した屋外活動の推進

《ねらい》 運動機会の確保、委員会活動の充実

《内 容》 生活委員会が企画・運営し、昼休みにボールの貸し出しをして内容と取組の充実を図り、運動をする機会を確保し、運動の楽しさを味あわせ、体力の向上を図る。

●指 標： ①活動実態の把握 （生活委員による貸し出しの状況）

②PR 活動 （生活委員会からの呼びかけ及び放送委員会と連携して昼の放送で流す）